'・1日電111,:ll:i!!||!||!|ll!!!!:::'日■国甲軍TI

、

｀SEKONIC FLASH METER

moddL‐ 256

説明書

お
買
い
あ
げ
を
い
た
だ
き、あり
が
と
う
ご
ざ
い
ま
す。
こ
の
取
扱
い説
明書
を
よくお
読
み
い
た
だ
い
て、セ
コ
ニック・ フ
ラッシ
ュ
メ
タ
ー L-256の
性
能
を
十
分
に
ご
活
川く
だ
さ
い
ま
す
よう、お
願
い
い
た
し
ま |"
■
目
次
本
機
の
特
長
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
… 2
仕
様
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
… 3
各
部
の
名
称
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
… 4
準
備
1・
パッテリー
を
入
れ
ま
す
…
…
… 6
2・
パッテリー
チ
エック
…
…
…
… 7
3・
ゼ
ロ
位
置
の
調
整
…
…
…
…
…
… 7
付
属
品
1・
光
球
……
…
…
…
…
…
…
…・8
2・
白
色
平
板
…
…
…
…
…
…
…
…
… 8
3・
光
角
度
板
…
…
…
…
…
…
…
…
… 8
4・
シ
ン
ク
ロ
コ
ード…
…
…
…
…
… 9
入
射
光
式
の
測
定
1・
シ
ン
ク
ロ
コ
ードを
用
い
な
い〔入
射
光
式〕の
測
定
…
…
…10
2・
シ
ン
ク
ロ
コ
ードを
使
用
し
た〔入
射
光
式〕の
測
定
…
…
…12
反
射
光
式
の
測
定
…
…
…
…
…
…
…
…
…14
-般
露
出
計
に
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…16
コ
ントラ
スト測
定・・・…
…
…
…
…
…
…18
照
度 (ル
ク
ス)の
測
定
…
…
…
…
…
…
…19
特
殊
な
利
用
法
1・
増
灯
器とし
て
の
オリF日
らk・・・・¨¨¨・・¨¨―・¨¨¨¨¨・20
2・ 2灯
以
上
の
フ
ラッシ
ュ
の
同
時
測
定
…
…
…
…
…
…
…
…
…22
操
作
一
覧
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…23
取
扱
い
上
の
注
意
…
…
…
…
…
…
…
…
…24
コ
パ
ル
本
社・工
場
の
所
在
地
…
…
…
…25

本
機
の
特
長
仕
様
・ セ
コ
ニック・ フラン
シ
ユ
メ
ー
タ
ー
L-256は、す
で
に
ご
愛
用
い
た
だ
い
て
い
る (ス
タ
ジ
オ
デラック
ス28
シリー
ズ〕に、瞬
間
的
な
フラン
シュ
光
を
測
定
で
き
るように
開
発
し
た
ハ
ン
ディタイプ
の
フラッシュメ
ー
タ
ー
で
す。
・ 内
部
回
路
に
は、高
信
頼
性
の
電
子
部
品と、プリント酉己線
な
ど
を
採
用
し
たことにより、な
お
―
層
の
耐
久′陛
が
得
ら
れ
るように
なりま
し
た。
・受
光
素 Jrに、シリコ
ン`4‐
光
ダイオ
ードを
採
用
し
たことにより、光
応
答
性
に
すぐれ(10μ SeC)、
安
定
性
と正
確
さ
が
い
ち
だ
んと向
上
し
ま
し
た。
・ 入
射
光
式
を
主
体とし
て、反
射
光
式
の
測
定も可
能
な
ほ
か、一
般
露
出
計
とし
ても使
用
で
き
ま
す。
・ フラッシュメ
ー
タ
ー
単
独
の、ノー
コ
ードで
測
定
が
で
き
ま
す。わ
ず
ら
わ
し
い
コ
ードによる
制
限
が
ありま
せ
ん
の
で、操
作
は
簡
単
に、し
かも
ス
ピ
ー
ディで
す。もち
ろ
ん
コ
ード
を
使
用
し、測
定
者
が
自
由
に
発
光
さ
せ
な
が
ら
測
定
す
ることもで
き
ま
す。
・ 指
針
は、受
光
後
約 2分
間
ストップ
状
態
に
な
るよう、電
子
回
路
を
設
計
し
て
い
ま
す。
・特
殊
利
用
法とし
て、ス
ピ
ードライ
ト (ストロ
ポ)の
増
灯
器とし
ても
利
用
で
き
ま
す。
測
定
方
式
測
定
範
囲
測
定
精
度
受
光
部
ASA目
盛
DIN目
盛
絞り目
盛
シャッタ
ロ盛
電
源
電
子
回
路
標
準
付
属
品
校
正
常
数
大
き
さ
重
入
射
光
式 ・ 反
射
光
式
兼
用
フラッシュ光
の
ほ
か、定
常
光も測
定
可
能
高
低 2段
切
換
え
フラッシュ光奮箕莞褒
御境駕∬島ll1/貯
定
常
光含欝尭羮 1:1:::[:[」
λ:「flil
±0.3EV以
内 (%絞り以
内)
入
射
光
式
…
…
光
球
および
白
色
平
板
反
射
光
式
…
…
光
角
度
板 (ASA× 2)
素
子
…
…
シリコ
ン
受
光
ダイォード
フィル
タ
ー
により分
光
特
性
補
正
6～ 12,ooo
9～ 42
1.4-128
1～ %。。。秒 (定
常
光
の
み
使
用)
水
銀
電
池」IS言
己号 HM-4N型 (5.6V)1イ
固
電
子
回
路
による
指
針
ストン
プ
装
置、バ
ン
テリー
チェック
機
構
付
光
球 ・ 白
色
平
板・ 光
角
度
板 (ASA× 2)
シ
ン
ク
ロ
コ
ード
C=340K=152
136× 65〉く45nlnl
糸勺320g

各部の名称
光球①
Lマーク②
Hマーク③
着脱指標④
ライトロ盛⑤
指針⑥
バッテリーチェックマーク①
スイッチボタン③
ダイアルライトロ盛③
切換ツマミ部⑩
ダイアル△Hマーク①
ダイアル△Lマーク⑫
DIN目盛 〇
ASA目盛 ○
フラッシュオ旨標 ⑮
シヤッタロ盛 (定常光のみ使用)①
スライド表示マーク〇
スライドスイッチ⑩
光角度板2]
シンクロコード④
シンクロターミナル
④電池ふた
バッテリーチェックスイツチ
ゼロ位置調整ネジ
二脚ネシ
○ヒモ掛け
変換コード赤黒各 l本

準備
極 1生を確認して、挿入します
ふたの凸部を本体の受け口に
1・ バッテリーを入れます
バンテリーは 」 IS記号 HM-4N
ll(56V)水銀電池を1個使用します。
(MALLORY TR‐ 164, Eveready
E164)
電池S、た② の凹部につめをかけ、軽
くもちあげますと、あ、たがはずれます。
電池の+極、一極を確認してから電
池ケース内の極1生の指示どおりに、正
しく挿入してください。
電池のム、た④ をかぶせて閉じるとき
は、2ヵ所の凸部を本体の受け口に合
せてかぶせ、軽く押してとリイlけます。
〔ご注意〕
*フランシユメーターを使用しないと
きは、スライドスイツチ⑩ を必らず
OFFにする習慣をつけてください。
(これは電池の余分な消耗を防ぐた
めです)
*長時間 (1カ月以_L)使用しない際
は電池を取りだして、乾燥した場所
に保管してください。
2・ バッテリーチェック
電池が規定の電圧以下になりますと、
メーターは正しい測定値を示さなくな
りますので、使用する前に、あらかし
め電池の電圧をチェックしてください。
〔チェックの方法 〕
a・ スライドスインチ(Dを、FLAS Hま
たは COR D‐ INにします。
b。本体うち側のパノテリーチェンク
スインチ② を、白11三角印方向から
下ノノヘ、ぃっぱいにスライドさせ
てください。
c・ 指針⑥ がバッテリーチェックマー
ク⑦ の範囲をはずれた場合は、電
圧が低下しているのですから、新
しい電池と交換してくたさい。
3・ ゼロ位置の調整
スライドスインチ⑩ と、スイソチボ
タン③ がOFFの状態で指針がゼロ位置
か
')ずれてヽヽるときは、本体うら1口 1のゼロ位置調整ネジ④ で正しい位置に調
整してください。
〔調整の方法〕
a。調整ネジ④のミゾに、ドライバー
を正しく挿入します。
b。指針⑥ を見なが
',、
ドライバーを
静かに回転させて正しいゼロ位置
に指針⑥ を合せます。
スライドスイッチをFLA S Hまたは CO
RD IN(こして、チェックスイッチを下
方へ押す
調整ネジを左右に回し、指針を正しく

付
属
品
|が
光
球
の白色
突
起
点を、本
体
の
指
標に合
せ
て、時
計
方
向
へ
回
わ
す
白色
平
板
光
球
光
球
①
は、入
射
光
式
で
露
出
を
測
定
す
るとき
に
使
用
し
ま
す。
〔取
付
け
方
法 〕
a・
光
球
①
の
基
部
の
端
に
つ
け
ら
れ
た
白
色
突
起
点
を、本
体
の
着
脱
指
標
④
に
合
せ
ま
す。
b・
光
球
基
部
が
本
体と正
しく密
着
す
る
ように
挿
入
し
てくだ
さ
い。
C・
光
球
本
部
を
時 li十
方
向
に
回
転
さ
せ
ク
リン
ク
で
固
定
さ
れ
る
位
置
ま
で !Jわ
し
て
取
付
け
ま
す。
d・
本
体
の Hマ
ー
ク③
は、光
量
の
特
に
多
いとき
の
測
定
に
使
用
す
る
指
標
で
た
球
の
白
色
突
起
点
を、 Hマ
ー
ク③
の
クリン
ク
位
置
に
合
せ
ま
す。
e・
本
体
の Lマ
ー
ク②
は、光
量
の
少
な
|ヽ ‖寺
`こ
,則
定
す
るとき
使
用
す
る1旨
標
で
光
球
の
白
色
突
起
卓
をLマ
ー
ク②
の
クリン
ク
位
置
へ
合
せ
ま
す。
f。
光
球
を
取りは
ず
すとき
は、この
逆
の
方
法
で
行
い
ま
す。
2.白
色
平
板
照
度
を
ル
ク
ス
単イ立
で
測
定
す
るときと
照
明
コ
ントラスト調
整
に
使
用
し
ま
す。
取
付
け
方
法
は、光
球
の
取
付
け
操
作と
同
じ
で
す。
3.光
角
度
板
反
射
光
式
で
露
出
を
測
定
す
るとき
に
使
用
し
ま
す。取
付
け
方
法
は、光
球
の
取
付
け
操
作と同
じ
で
す。
4
シ
ン
ク
ロ
コ
ー
ド
フラン
シ
ユ
メ
ー
タ
ーとス
ピ
ードライ
ト (ストロ
ボ)を
接
続
し
て
測
定
す
る
際
に
使
用
し
ま
す。
この
フラッシュメ
ー
タ
ー
に
は、付
属
品とし
て
約 6mの
シ
ン
ク
ロ
コ
ードと、
極
性
変
換
コ
ード (赤 ・黒
各 1本、計 2
本)が
つ
い
て
い
ま
す。
〔ご注
意〕
*フラン
シ
ユ
メ
ー
タ
ー
の
シ
ン
ク
ロ
タ
ー
ミナ
ル⑩
は、外
側
の
接
に
が(―)極、
内
側
の
突
起
接 11が (十
極)に
なって
い
ま
す。
*ご
使)‖ の
ス
ピ
ードライトによって
は
この
オえlヽ ´)極 ′性
力うt/iに
なってヽヽるよ場
イ、もありま
す
の
で、極
性
変
換
コ
ード
の
赤 ・ 黒
い
ず
れ
か
をjIFび、シ
ン
ク
ロ
コ
ードと接
続
し
て
ご
使
用くだ
さ
い.
*ス
ピ
ードライトの
タ
ーミ
‐ナ
ル
極
性
が
外
側
が
一
極、内
側
の
突
起
接
点
が
十
極
のとき
―
―。
〈赤
色
の
変
換
コ
ードと、 6mの
シ
ン
ク
ロ
コ
ードを
接
続 〉
*ス
ピ
ードライトの
タ
ーミナ
ル
極
性
が
外
側
が
十
極、内
側
の
突
起
接
点
が
一
極
のとき
―
一、
〈黒
色
の
変
換
コ
ードと、 6mの
シ
ン
ク
ロ
コ
ードを
接
続 〉
*ご
使
用
の
ス
ピ
ードライトの
タ
ーミナ
ル
極
性
が
不
明
のとき
は、赤 ・ 黒
の
い
ず ′しか
でI式
し
て
か
',決
定
し、ごイく用
の
変
換
コ
ードを
別
に
保
管
さ
れ
ると使
ナ‖ Lの ,1と
喬しを1坊ぐことが
で
き
ま
す。
*極 1生
が
異
な
る
場
合
は、本
体とス
ピ
ー
ドライトを
接
続
し
ても、スイン
チ
ボ
タ
ン③
を
押
し
た
時、ス
ピ
ードライト
は
発
光
し
ま
せ
ん。 (操
作
方
法
は
後
述
を
参
照)
のコ極
は 〈黒 〉 のコ
ード
鋏 I
変
換コードとシンクロ
コードを接
続します
亀
し」■
、
1極 (まく赤 〉
― ド
く赤 〉 の
変
換コード
ヲ
ご
ン
タ
〈黒 〉 の
変
換コート
8 9
光
角
度
板

入
射
光
式
の
測
定
ダイアルを指
で
押え、切
換えツマミ部
を回
わしフィルム感
度をセットします
光
球は Lマークではぼ
測
定
できます
スライドスイッチ
はFLASHに
し
ま
す
シ
ン
ク
ロ
コ
ー
ド
を
用
い
な
い 〔入
射
光
式〕の
測
定
法
一
般
的
に
は
光
球
①
を
つ
け
た
入
射
光
式
の
測
定
方
法
を
主とし
て
い
ま
す
の
で、こ
の
米
本
的
な
使
用
方
法
を
説
明
し
ま
しょう。
〔フィル
ム
感度
の
セット〕
あ
ら
か
し
め、ご
使
用
の
フィル
ム
の
感
度
を
セ
ントし
てくだ
さ
い。
a・
ダ
イ
ア
ル
を
押
え、切
換
え
ソマミ部
⑩
を
指
先
で
いlわ
し
ま
す。
b・
フィル
ム
のASA(DI N)感
度
の
数
イ直
を、ASA(DI N)窓 (×Dの
白
い
線
に
イヽせ
てくだ
さ
い。
'iFこ
で
は、 A S A100(DIN 21)に
イ)せ
て
ありま
す。
〔測
定
方
法〕
a・
光
球
①
を、受
光
部
に
取り付
け
ま
す。
H(H igh)と L(LOw)の
切り換
え
は、か
なり強。ヽ(高
出
力)ス
ピ
ー
トライトを
用
い
な
い
か
ぎり、 L側
で
測
定
で
き
ま
す。
な
お、 A S A100・ F22以 11は H側
で
測
定
し
てくだ
さ
い。
b・
スライドスインチ
⑩
をFLASH
の
位
置
に
し
てくだ
さ
い。
c。
フラッシュメ
ー
タ
ー
は、被
写
体
の
測
定
し
た
いイ立置
か
ら、受
光
古6(光
I求
①)を
カ
メラ方F」 に1占]け、フラ
ン
シ
ユ
を
発
光
し
ま
す。
d・
指
金
卜は、た
た
後
約 2分
問
ストップ
J大
鬼彙となりま
‐す。 2,)を
糸鷲辻塾
し
ま
すと、 1旨
金
卜は Iヨ Fll白
勺に
ヨご
ロイ立i壁
に
戻りま
す。
e。
再
測
定、ま
た
は
すぐに
指
針
を
ゼ
ロ
位
置
に
戻
し
た
いとき
は、スライド
スイッチ
⑩
をOFFに
す
ると、す
ぐ指
針
は
ゼ
ロ
位
置
に
戻りま
す。
「
子びFLASHのイ立
置
に
スライドスイ
チ
⑩
を
戻
し
て、再
猥1定
を
行
なって
くだ
さ
い。
f・
受
光
後、指
針
⑥
の
指
示
し
た
ラ
イト
目
曲
⑥
の
数
値
を、ダ
イ
ア
ル
ラ
イト
目
白
◎
に
移
し
ま
す。
くご,主
意〉
*光
球
がLマ
ー
ク
のとき
は、ダ
イ
ア
ル
の
緑
の
△ Lマ
ー
ク
を、ダ
イ
ア
ル
ラ
イトH盛
◎
に/1せ
ま
す。
*光
球
がHマ
ー
ク
のとき
は、ダ
イ
ア
ル
の
赤
の
△ Hマ
ー
ク
を、ダイ
ア
ルライト日盛
⑨
に
合
せ
ま
す.
g・
ダイア
ル
ロ
盛
を
合
せ
た
状
態
で、F
LASH指
標
⑮
の
示
し
た
数
値
が
絞
り値となりま
す。
〈ご
注
意 〉
*FLASH十
旨標
⑮
のところ
に 125と
あ
る
シャン
タ
速
度
の
表 /rNは
フラ
ッシュ描議
多の
場
合
は
関
係
ありま
せ
スレ。
*こ
の
シャッタ
速
度
の
表
示
は、一
般
の
露
出
計とし
て
定
常
光
を
測
定
す
るとき
の
み
使
用
し
ま
す。
*こ
の
メ
ー
タ
ー
は、 |:ヨ
光
電
球
で
は
使
用
で
き
ま
せ
ん。
〔測
定
上
の
注
意 〕
測
定
し
た
い
部
分
に
露
出
計
を
で
き
る
だ
け
近
ず
け、受
光
部
の
光
球
を
カ
メラレ
ン
ズ
に
正
しく向
け
てくだ
さ
い。
光
球
が
著
しく汚
れ
た
場
合
は、誤
差
を
もた
ら
し
ま
す
の
で、ぬ
る
ま
湯
で
洗
漁
し
て
か
ら
ご
使
用くだ
さ
い。
被
写
体
の
位
置
からカメラに
受
光
部を向け、発
光させます
指
針の指
示した数
値をダイアルに移す
と、絞り値
が
得られます

2・
シ
ン
ク
ロ
コ
ー
ド
を
使
用
し
た 〔入
射
光
式〕 の
測
定
法
次
のような
測
定
条
件
のとき
は、ス
ビ
ードライト (ストロ
ボ)と
フラノシ
ユ
メ
ー
タ
ー
を
シ
ン
ク
ロ
コ
ード②
で
接
続
し
てくだ
さ
い。
a。
同
じ
場 l lrで
人
ぜ
い
の
人
が
スヒート
ライトを
使ってヽヽる
場レ合。lf也
の
ス
ビ
ートライトの
光
で、メ
ー
タ
ー
が
誤
動 14■
‐る
思
オしが
ありまう ,
b ・ 1
人・こ掛lヽ 1'■ ~るとき、ヤた
'メ
千本fウ:itrl
で
発
光
さ
せ、測
定
し
た
いとき。
c ・ ll『 トシ
ン
ク
ロllK景
多´)1祭、シ
ン
ク
ロ
コ
ードをイ吏用
し
な
い
て (スライド
スイッチ
⑩
をFLASH位
置)発
光
し
てもメ
ー
タ
ー
が
感
じ
な
いとき,
〔測
定
方
法 〕
a・
フィル′、感 1芝
を
セ ′卜
し
まう。
b。
た'Ю
を
受
光
部
にJくりr」 け
ま
す
c ・ スライドスイ ′チC)を CORD IN II
し
ま
→‐ d・
千」属
の
シ
ン
ク
ロ
コ
ートの
で、スヒ
ートライトとフラッシュメ‐ タ
ー
を
接
続
し
ま
す .
・ 被
写
体
位
置
か
')、
フ
ラ ′シ,メ
ー
タ
ー
の'そ
光
部
を
力 /ラ
方
向
に
向
け
ス
イ
ンチ
ボ
タ
ン③
を
押
し
てくだ
さ
い.押
すと同
時
に
ス
ピ
ードラ
イト
(ま ′6)Lし
まう
。1旨
全KDは、ス
イ ′チ
ホ
タ
ン(Dを
オ甲
し
続
け
て
い
る
間
だ
け
スト ′ブ状
態
に
な
っ
て
い
まう
ラ
イトHIЮ
グ)数 71を 1洗
みとる
ま
で
押
し続
け
て
い
てくだ
さ
い。
指
を
放
すと、1旨
金l⑥
は
ゼ
ロ
位
置
に
戻りま|.
g。
受
光
し
た
状
態
の
ま
ま、指 ,l⑥
を
一
日寺
ストン
プ
さ
まき
たヽヽとき
は、スイ
ッチ
ボ
タ
ン③
を
押
し
続
け
な
が ,)ス
ライドスイ ′チ
⑩
をCORDlNか
ら、
FRAS Hへ
不多fllJさ
せ
てくだ
さ
い。糸勺
2分
間、指
'卜
を
ストソ
フ
さ
せ
るこ
とが
で
き
ま
す。
h・
絞りllAの
読
取り方
は、前
述と同
じ
で
す。
〔ご注
意〕
フラッシュメ
ー
タ
ー
に、シ
ン
ク
ロ
コ
ード(変
換
コ
ード)を
接
続
す
るとき
ま
た Iよ、コ
ードを
接
続
し
て
い
て
スライド
スインチ
をOFFか
らCORD IN{二
し
たと
き。シ
ン
ク
ロ
コ
ードを
接
続
し
て
い
て、
他
のノァの
ストロ
ボ
た
を
メ
ー
タ
ー
が
受 (十
たとき、ス
ピ
ードライトカ■L光
す
るこ
とが
ありま
す ‖故
障
で |よありま
せ
ん
の
で、そ
の
ま
ま
ごf吏
'1く
だ
さ
い。
スインチ
ボタンを押
すと発
光し、同
時
に 701定
が
できます
スインチ
ボタンを押し続けて
いる間
た
け、指
針
は
ストップします
スインチ
ボタンを押したままFLASH I
スライトすると、指
金十は
止まります
ｌ
Ｖ
独りで
'貝
」定した
いとき、
ュ光
の
影
響を受けや
すヽ
ロコードが
べ
んりで
す
他
のフランシ
とき、シンク
スライドスインチ
をCORD Nに
シンクロコードで
接
続します
11
1J
13

反射光式の測定
光角度板を受光部につけます
ASA感度数値を 2倍にした数値を、ダ
イアルにセットします
反射光式の測定方法
〔光角度板〕を使用
反射光式で測定するときは、受光部
に光角度板② を取り付けてください。
シンクロコードを使用しないときと
使用する場合のそれぞれの操作は、前
述の入射光式の操作と同様です。
〔測定方法〕
a・ 光角度板の本部にある白色突起点
を本体の着脱指標④ にイ)せて挿人
し、日寺計方向に回わしてクリンク
によって固定される位置まで回転
させます。
b ・ クリックによって‖J,こさ才しるイ立置
は、 HマークとLマークの 2が叶
があります必ずいずれかのクリ
ァク位置までセットしてくださヽヽ
(クリックイ、ア置以クトにセントした
場イ、´)i‖ うこは言呉差をもた ',します)
c・ ASA数値を 2倍にした数値をグ
イアルにセットします。
例えば、 A S A 100のフィツレムで
はA S A 200としてASA目盛⑭
にセットしてください。(DINの
上場ィ)はぅメラス3にして、 DIN 21
は DIN 24に)
d・ フラッシュメーターを、被写体の
主要部にできるだけ近づけて、被
写体からの反射光を測定してくだ
さい。このとき、フラッシュメー
ターの影を測定部に入れないよう
十―分に気をつけてください。
e・ 指針⑥ の示した数値をダィアルラ
イトロ盛 ⑨ に移しかえます。光角
度板② が Lマークのときは緑の△
Lマークを合せ、Hマークのとき
は同様に赤のHマークをイ)せます。
f・ FLASH指標⑮ の示した数値が絞り
値を表わします。
g° シヤンタ速度の数値は、この場合
関係ありません。 (一般の露出計
として使用する場合に用います)
h・ スライドスイッチ⑩ の操作は、人
射光式と同様に操作してください。
くご注意〉
|て射光式の測定の場合、標準反射板
をご使用になると、より正しい数111が
得られます。
露出計の受光部は、測定したい筒所
に正しく向けてください。
被写体にできるだけ近
ずいて測定します。操
作は入射光と同じです
指針の指示した数値をダイアルに移す
と、絞り値が得られます

一般露出計に
入射光測定 → 光球を使用
反射光測定 → 光角度板を使用
反射光のときはフィルム感度を 2倍に
一般露出計としての測定
〔入射光式〕測定法
〔反射光式〕測定法
人射光測定のときは光球① を、反射
光測定のときは光角1支 ゛0 (光角度板
をイ費用するときは 2倍のASA数値に
セントします)を、受光部に取リイヽ1け
ます。
〔測定方法〕
a ・ スライドスインチ(Dを CORD INに
します。ただし、シンクロコード
は必要ありません。
b・ スインチボタン③ を押します。(定
常光の場イ)でも瞬‖‖的に受光しま
す)
c。指針⑥ の示したライトll盛の数値
を読みとります。ただし、スィノ
チボタン③ を放すと指針はゼロ位
置に戻りますので、読み終るまで
押し続けてください。 (スィ ′チ
ボタン③ を押しなが r,、スライド
スイッチ⑩ をFLASHにすると、指
'卜
を率,2分 ||リストソフJ人態にする
ことができま1,
d・ ライトロ盛Эの数値を、ダイアル
ライトロ盛に移しかえ、ダイアル
の△マークをその数値に合せてく
ださい。
受光音βが Lマークのときはダィァ
ルの緑の△ Lマークを合せます。
受光部がHマークのときはダィア
ルの赤の△Hマークを合せてくだ
さい。
e・ △マークを合せたら、絞り値〇 と
対応するシャノタH盛⑩ の組み合
せが得ら″します。
〔ご注意〕
夕・イア′レのFLASHォ旨本票Э は、この場
イ)関係ありません。 %25秒を示す位値と
なります。 1秒から‰秒までを、絞り
値と組み合せてご利用ください。
スイッチボタンを押したまま数値を読み
絞り値はシャ
FLASHにスライドすると、指針はと
まります
スライドスインチはCORD INに
ダイアルの△指標に数イ直を移します
スインチボタンを押して
'員
J定します
16 1フ

コントフスト ＝＝ 定Ｕロハ
コントラストを測定するときは、自色
平板を取リイ寸けてくナごきヽヽ
被写体位置で、主光源と補助光源の明
るさをそれぞれ測って、比較できます
定常光およびフラッシュ光の
コントラスト測定の方法
〔自色平板を使用〕
被写体位置での主光源による明るさ
と、補助光源による明るさを、それぞ
れ測定した照明コントラスト比を調整
うるときに使用します。
〔測定方法〕
a・ 白色平゛もを、受光部に取リイ」け
ます。取り付け方法は光iS、光
角度板② と同様です。
b・ シンクロコードを用いないとき及
び用いたときの操作の仕ノJは、人
射光式のl・x作と全く同様です。
照度 (ルクス)の測定方法
〔自色平板を使用〕
白色平板を使用すると、照度計とし
て使用することができます。
〔測定方法〕
a。白色平板④ を、受光部に取り付け
ます。
b…■光部を測定面に｀ア行におき、ス
ライドスインチ⑩ をCORD IN`こし
て、スインチボタン③ を押してく
ださい。 (シンクロコードは不用)
c・ ライトロ盤Э から指針の示した数
値を読みとり、次の換算表から照
度 (ルクス)が得られます。
d・ 白色平板がHマークのときは、表
のルクス数イ直を321吉してください。
e・ 換算表の照1支 (Lx)にス25を推ドすると
LxSecとなります。
白色平板を使って照度を測定するには
スライドスインチをCORD INに
受光部を測定面に平行におき、スイン
チボタンを押します
ヽ
ヽ
ヘ
，
・
・
贔Ｙ
Ｉ
一
‐
目
盛
ラ
イ
ト
1 2
ル
ク
ス
2,500 5,000 10,00(20,00{
目
盛
ラ
イ
ト
7
ル
ク
ス
40,00(80,00(:60ЮO(

特殊な利用方法
1・ 増灯器としての利用法
メインフラッシユの光を受けると、同
時に補助光源を発光させますメインフラッシュを発光すると同時
に、瞬間的にフランシユメーターが光
をキャッチし、増灯用フランシユを同
時発光させる、便利な利用法です。
増灯器として使用するときは、光球を
使い、スライドスイッチをFLASHに
〔利用方法〕
a・ 受光部に光'Oを取り付けます。 b・ スライドスイチ⑩ をFLASHまたは
CORD‐ lNにしてく′ごさヽヽ,
c・ 増灯用フランシュと、フラッシュ
メーターをシンクロコード② で接
続します。
d。メインフランシユを発光するとFill
灯用フランシユも同調して発光し
ます。
2Cl
21
(応用例 a〕
フラッシュメーターと」lYl丈「 用フラン
シ・ を、直接シンクロコードで接続し
ます。
〔応用例 b〕
フランシュメーターをタップと接続
'れ `∫ 、数多くの増「よフラ ′シュを同
,J司させることができます。
(応用例 c〕
フラァシュメーターを被写体位置に
置けば、増灯と同時にその‖キの全光電
(増灯したフラフシュも_,、くめて)も
‖J定できます。
この場合スライドスインチ⑩ はFL―
ASHにしてください
メインフラッシュと同時に補助光源を
発光させます
タップを使用し、同時に数個の補助光
源を発光させます
り
ぃ
増灯すると同時に、増灯した光量もふ
くめて全光量を測定します

全フラッシュをタンプ
す
れ
ば、同
時に
全フランシユを発
光させ
て、各
方
向
か
らの
光
量を適
格に測
定
することが
でき
ます .
2灯
以
上
の
フ
ラ
ッ
シ
ュ
の
同
時
測
定
2灯
以_上
の
フ
ラッシ
ュ
を
使
用
す
る
場
合、タップ
を
使
用
し
て、同
時
に
全
光
量
をlu定
す
る
ことが
で
き
ま
す。
〔測
定
方
法〕
a・
使
用
フ
ラ
ン
シ
ユ
を、コ
ードで lヵ
所
に
タップ
し
ま
す。
b。
そ
の
タップ
に、フ
ラ
ン
シ
ユ
メ
ー
タ
ー
を接
続
し
てくだ
さ
い。
c ・ ス
ラ
イドス
イ
ンチα)を CORDJNに
し
ま
す。
d・
ス
イッチ
ボ
タ
ン③
を
押
すと、全
フ
ラッシ
ュ
が
発
光
し、全
光
量
を,Hl定
す
る
ことが
で
き
ま
す。(操
作
ブj法
は
前
述
の
入
射
光
式
の
シ
ン
ク
ロ
コ
ード
使
用
の
測
定
法
を
参
照)
｀
、
キ ′
操
作
一
覧
フ
ラッシ
ュ
光
定
常
光
入
射
光
式
測
定
光
球
※
ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン⑧
一を
押
す
と
き
は
、
ラ
イ
ト
ロ
盛
を
読
み
と
る
迄
押
し
続
け
る
こ
と
※
ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン③
を
押
し
続
け
た
ま
ま
ス、
ラ
イ
ド
ス
イ
ッチ
⑩
を
Ｆ
Ｌ
Ａ
Ｓ
Ｈ
に
す
る
と
、
指
針
⑥
を
約
２
分
間
ス
ト
ッ
プ
状
態
に
す
る
こ
と
が
で
き
ま
す
反
射
光
式
測
定
光
角
度
板
一
般
露
出
計
と
し
て
光
球 ・光
角
度
板
コ
ントラ
スト測
定
白
色
平
板
白
色
平
板
照
度 (ル
ク
ス)測
定
白
色
平
板
シ
ン
ク
ロ
コ
ードを
用
い
な
い
と
き
FLASH
□
■
□
CORD― IN
■
□
□
ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン
を
押
す
ン
ン
ク
ロ
コ
ードを
使
用
す
る
と
き
CORD― IN
■
□
□
ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン
を
押
す
→
発
光
23

ア
フ
タ
ー
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て
弊
社
の
製
品
に
は
一
定
期
間
内
の
無
料
修
理
を
お
引
受
け
す
る
保
証
書
が
添
付
さ
れ
る
こ
と
に
な
っ
て
おりま
す
の
で、記
載
事
項
を
お
確
か
め
の
う
え
販
売
店
よりお
受
取りくだ
さ
い。
な
お
保
証
書
の
再
発
行
は
致
し
ま
せ
ん
の
で、取
扱
説
明
書
と
併
せ
て
大
切
に
保
管
し
てくだ
さ
い。
取
扱
い
上
の
注
意
●
無
料
保
証
期
間
な
ど
に
つ
い
て
①
無
料
保
証
期
間Iよ
お
買上
げ
日
より lヵ
年
間
で
ご
ざ
い
ま
す。
②
保
証
書
に
お
買上
げ
日
お
よ
び
販
売
店
名
の
な
い
も
の|よ保
証
の
対
象
に
なりま
せ
ん
の
で、必
ず
お
確
か
めくだ
さ
い。
③
無
料
保
証
期
間
内
で
も
有
料
修
理とな
る
場
合
も
ご
ざ
い
ま
す
の
で、保
証
書
の
記
載
事
項
を
お
確
か
めくだ
さ
い。
④
保
証
期
間
経
過
後
の
修
理
は
有
料となり
ま
す。ま
た、運
賃
諸
推
卜りは
お
客
様
に
ご
負担
願
い
ま
す。
●
彬
用性能部
中
間
な
どに
つ
い
て
①
補1参
用1生
市ヒ音β品
は 7年
間
を
目
安
に
保
有
し
て
おりま
す。し
た
が
つ
て、本
期
間
中
は
原
則とし
て
修Flを
お
受
け
い
た
し
き
す。な
お
故
障
筒
所
に
よりま
し
て
は
期Hlが
過
ぎ
て
も
修
理
可
能
の
場
合
も
ありま
す
の
で
サ
ー
ビ
ス
セ
ン
タ
ー
に
お
問
合
せくだ
さ
い。
②
修
理
可
能
期
間|よご
使
用
の
状
態
や
環
境、
お
手
入
の
状
態
な
ど(こよ
つ
て
異
な
る
場
合
が
ありま
す
の
で、現
品
を
ご
持
参
の
うえ
お
買上
げ
店
ま
た
は
サ
ー
ビ
ス
セ
ン
タ
ー
に
ご
本H談くだ
さ
い。
③
修
理
可
能
期
間
内
で
も
浸
冠
水、強
度
の
ショック、そ
の
他
損
傷
の
い
ち
じ
る
し
い
も
の
で、修IE後
の
機
能
維
持
に
問
題
が
残
ると思
わ
れ
ま
す
も
の
に
つ
き
ま
し
て
は
修
理
不
能とな
る
場
合
が
ありま
す。
●
修
理
ご
依
頼
時
に
お
け
る
留
意
事
項
①
修 FF品
に
つ
き
ま
し
て
は、故
障
内
容
を、
ま
た
ご
指
定
の
修
理
筒
所
が
ありま
す
場
合
に |ま、そ
の
指
定
筒
所
を
で
き
る
だ
け
具
体
的
に
お
中
し
出くだ
さ
い。
ご
指
定
の
な
い
場
合
に
は、各
部
点
検
を
は
じ
め
品
質
的、1生
能
的
に′Zヽ要と認
め
ら
れ
る
す
べ
て
のところ
を
検
査 ・ 調
整
・修
理
す
ることに
なり、 1蓼
理
料
金
が
加
算
さ
れ
る
場
合
が
ありま
す
の
で
ご
留
意くだ
さ
い。
② l,理
を
ご1/k頼
さ
れ
たもの
の
中
に
は、
単
に
電
池
を
交
換
す
る
だ
け
で
正
常
に
作
動
す
る 「故
障
し
て
い
な
いもの 」 が
見
受
け
ら
れ
ま
す。電
池
の
容
量
低
下、①
Oの
逆、定
格
違
い
な
ど
に
つ
い
て、よ
くお
確
めくだ
さ
い。
8霞
曇』雪銘濶
萌詈
崚
1
売り吉
に
ご
依
頼
し|こくしヽ場
合 |よ、最
寄
りの
サ
ー
ビ
ス
セ
ン
タ
ー
に
ご
相
談くだ
ひ
さ
い。
●
お
問
合
せ
先
に
つ
い
て
本
製
品
の
保
証、修
理、使
い
方
な
ど
の
お
問
合
せ Iよ、最
寄りの
サ
ー
ビ
ス
セ
ン
タ
ー
を
ご
不可用くだ
さ
い。
フラン
シ
ユ
メ
ー
タ
ー L‐ 256は
精
密
機
械
で
す
の
で、下
記
の
点
に
ご
注
意くだ
さ
a 。落
下、ま
た
は
急
謗になイ輸撃
は
ネ色丈寸に
さ
け
てくだ
さ
い。
b。
極
度
の
高
温、多
湿
の
場
所
に
は
保
管
し
な
い
てくだ
さ
い。
c・
磁
性
に
影
響
あ
る
所、および
防
虫
剤
の
入って
い
る
所
で
の
保
管
は
さ
け
る
ように
し
てくだ
さ
い。(金
属
キャビ
ネット、た
ん
す
等)
d・
光
球、白
色
平
板
は、傷
が
つ
か
な
い
株
式
会
社
ように、ま
た
常
に,青
潔
にイ呆
つよう
に
し
てくだ
さ
い。(汚
れ
が
著
し
いと
き
は、石
け
ん
を
溶
か
し
た
ぬ
る
ま
湯
でよく洗
浄
し
てくだ
さ
い)
万
一
故
障
が
起
き
ま
し
たとき
に
は、最
寄
の
営
業
所、ま
た
は
サ
ー
ビ
ス・ ス
テ
ー
ション
に
お
持
ちくだ
さ
い。
お
近くに、営
業
所
ま
た
は
サ
ー
ビ
ス・
ス
テ
ー
ション
が
なく郵
送
さ
れ
る
場
合
に
1ま
厚
さ 3 cln以
上
の
衝
撃よけ
パノキ
ン
グ
に
包
ん
で
か
ら、段
ポ
ー
ル
な
ど
で
梱
包
し
てくだ
さ
い。
―
林
営
業
所
〒 77東
京
都
練
馬
区
大
泉
学
園
町7-24-1403(922)2153
大
阪
営
業
所
〒541大
阪
市
東
区
本
町2-25本
町
ビ
ジ
ネ
ス
ビル 06(203)1571
名
古
屋
営
業
所
〒460名
古
屋
市
中
区
栄 5-8-14
万
国
ビル 052(251)6201
東京サービスセンター
〒 162東
京
都
新
宿
区
市ヶ谷
田
町3-8新
杵
ビル 03(269)7241
・r7